

日本 TRIZ シンポジウム 2012 の開催にあたって

2012. 6. 11.

日本 TRIZ シンポジウム実行委員長

NPO 法人日本 TRIZ 協会は、創造的な技術革新の技法「TRIZ」について、広く発表・討論・交流を行うために、第8回 日本 TRIZ シンポジウム 2012 を開催いたします。

TRIZ（発明的問題解決理論）は産業界の技術革新を強力にサポートする思想、技法、そして知識エンジニアリングツールとして、1996年に日本に紹介されて以来、TRIZに関心を持つ国内外ユーザにより多くの適用事例の紹介や研究が行われ、現在ではソフトウェア問題やビジネス革新にも有効なものとして色々な場面での適用が行われています。

これまでに7回の TRIZ シンポジウムを毎年開催してきました。

今年度は「TRIZ思考で、プロセスを変える、夢をかなえる！」をテーマに、9月6日（木）～8日（土）の3日間開催致します。

開催場所は、早稲田大学・西早稲田キャンパス（東京都新宿区大久保3-4-1）において行います。また、日本創造学会の後援をいただいたの開催となりました。

第1日はセミナーの日として、TRIZに比較的新しい人たち向けのチュートリアルとテーマ講演、日本創造学会会長の弓野憲一氏の特別講演、および Denis Cavallucci (INSA Strasbourg、仏)によるアドバンストセミナーを行います。

2日目&3日目はコンファレンスの日として、Denis Cavallucci の基調講演、Jeongho Shin (eTRIZ社、韓国)の特別講演、および一般発表（オーラル発表、ポスター発表）を行います。今回もシンポジウムでの発表は、通常のオーラル発表と、発表者との密な交流が可能なポスター発表の2つのスタイルを採用しました。一般オーラル発表は2会場並行とし、ポスター発表は2回のセッションでの平行発表と討議という構成としています。

一般発表は、国内外の企業、各種教育研究機関、グループ・個人レベルでの各種取り組みや適用事例の発表、また技術分野中心の適用から非技術分野での TRIZ 適用と、今年も幅広い発表が予定されています。

このように今回の日本 TRIZ シンポジウム 2012 は従来にも増して興味深いテーマが数多く発表されます。世界的な景気低迷の今日、新しく飛躍していくには、未来を的確に読み解き、イノベーションの成功率を高めていくことが強く求められており、今回の TRIZ シンポジウムはこのための有益なヒントを数多く与えてくれるものと確信しております。

TRIZの実践者・教育者、TRIZの適用普及を進めておられる方々、これからTRIZを始めようとする方々に加えて、創造性を育む教育や研究に従事しておられる方々、知財やValue Engineeringに従事もしくは関心をお持ちの方々、開発・設計プロセスの改革に関心をお持ちの方々、次世代のイノベーションや新しいビジネスモデルを模索しておられる方々の参加を大いに期待しております。

日本TRIZ協会の会員でなくてもかまいませんし、これを機に会員になろうという方も大歓迎です。今回のシンポジウムが参加いただいた皆様の業務やビジネスの様々な場面で必ずやお役に立てることと信じています。

TRIZはもとより上記の多様なお立場の皆さまに一同に会していただき、活発な意見交換・議論をしていただきたいと思います。

多数のご参加をお待ちいたしております。

以上